

◆ 思い込みをしていませんか？

子どもが幸せに
今を生きるために
保育園で活かす

Convention on the Rights of the Child
子どもの権利条約

その 45



イラスト・うつろあきこ

No.55

朝の乳児保育室でのこと。0歳児、1歳児合わせて8名ほどが登園後遊んでおり、保育士はその遊びを見守りながら朝の受け入れをしていました。

こだわりがある1歳児のA君は、ほしいものがあれば取ったり、他の子の遊んでいるところへ行つて邪魔をしたり、後ろから突き飛ばしたりすることが日常的にあります。この日はとても落ち着いて、集中して遊んでいます。そこへしつかり者のBちゃんがA君に何やらいっています。A君は「いやや」「いや」「やめて」といい続けています。それでもBちゃんはやめ

ずにA君の嫌なことを続けた結果、A君がBちゃんを叩いてしまいました。Bちゃんは大泣きです。

他の子の受け入れを済ませた保育士が見たのは、A君が叩いた場面でした。すぐにA君を止めて「叩いたらダメでしょ！」と少し叱り口調で伝えます。A君はギリギリまで我慢して、嫌なことをされて「嫌だ！」と表現しただけなのに叱られてしまいました。いつも悪いからと思いい込み、前後の様子を見ずに判断していませんか…。どの子にも、いいたいことがあります。

山田めぐみ／兵庫県神戸市・はたつかこども園園長

ひとりを大切にする保育が展開されることを願っています。

ここでは、子どもの権利条約に基づいた実践を紹介していきたいと思ひます。皆様も、素敵な実践をぜひお寄せください。全私保連保育国際交流運営委員会

